

報道関係者各位

2019年10月7日

株式会社村上農園

和のハーブ「大葉」が今注目のスプラウトに！

新野菜「青じそスプラウト」が誕生

シャキッとみずみずしく、サラダやオードブルに合う！ 10月10日(木)発売

株式会社村上農園(本社:広島市、代表取締役社長:村上清貴)は、香味野菜「大葉(青じそ)」の新芽(スプラウト)「青じそスプラウト」を10月10日(木)から全国で順次発売します。

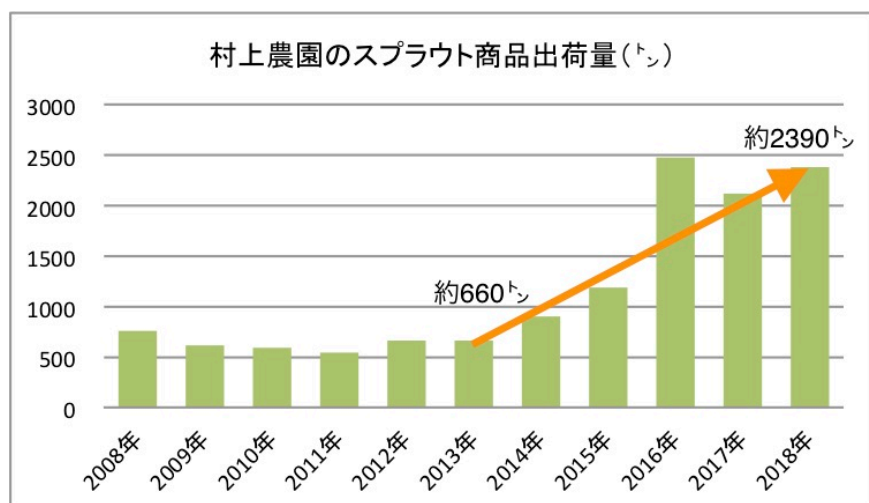


大葉(青じそ)は、薬味や天ぷらなどに使われる香味野菜として、古くから日本の食卓に欠かせない存在です。新野菜「青じそスプラウト」は、その種子を発芽させたもの。薬味としての利用だけでなく、みずみずしさを生かしてサラダにしたり、刺身や生ハムで巻いて華やかなオードブルにしたりと、和風から洋風まで幅広い料理に使えます。



ここ5年で出荷量3.6倍！急伸中のスプラウト市場

スプラウトは、成長するための栄養がギュッと詰まった“天然のサプリメント”とも呼ばれます。レッドキャベツやマスタード(カラシナ)など様々な野菜のスプラウトがありますが、中でも「ブロッコリースプラウト」は、体の防御機能を助ける働きが期待される成分「スルフォラファン」を豊富に含むことから、近年の健康志向の高まりを背景に注目が集まっています。実際、村上農園のスプラウト商品の出荷量は、ここ5年で約3.6倍に急伸しています(2013年と2018年の出荷量比較)。



商品概要

商品名: 青じそsprout
 内容量: 26g程度(可食部8g程度)
 予想小売価格: 130円前後/1パック(価格は販売店舗により異なります)
 発売日: 2019年10月10日(木)から全国の量販店で順次発売

商品特徴

- 和食はもちろん、サラダやパスタなど洋風の料理にも合います。
- 細かく刻む必要がなく、根元を切り落とすだけで手早く料理に使えます。

村上農園 会社概要

設立 1978年1月
 代表者 代表取締役社長 村上清貴
 売上 98億9,900万円(2018年12月期)
 国内販売額 100億4,300万円(2018年12月期/うち沖縄村上農園:1億4,400万円)
 事業内容 sprout、豆苗(とうみょう)、かいわれ大根など発芽野菜と高成分野菜の生産・販売
 事業所 本社・研究開発部(広島)
 生産センター(千葉、神奈川、静岡、山梨、三重、広島、福岡)
 営業所(東京、名古屋、大阪、広島)
 関連会社 株式会社沖縄村上農園(沖縄県大宜味村)
 ウェブサイト <http://murakamifarm.com>

このリリースは下記の記者クラブ・記者会にお届けしています。

○東商記者クラブ ○農政クラブ ○農林記者会 ○広島経済記者クラブ

【お問い合わせ先】(株)村上農園 広報マーケティング室 担当: 篠田・中山

TEL:03-6453-0392/FAX:03-6453-0393/携帯(篠田):080-2943-6147

E-mail: shinoda@murakamifarm.com 住所:東京都港区芝公園1-8-4 NREG 芝公園ビル4階